

令和3年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る中間評価結果

領域番号	5101	領域略称名	出ユーラシア
研究領域名	出ユーラシアの統合的人類史学：文明創出メカニズムの解明		
領域代表者名 (所属等)	松本 直子 岡山大学・文明動態学研究所・教授		

(評価結果)

A (研究領域の設定目的に照らして、期待どおりの進展が認められる)

(評価結果の所見)

本研究領域は、出ユーラシアにおける文明形成過程を物・身体・心の相互作用という観点から文理融合的に解明し、ユーラシアを中心として理論化されてきた従来の文明創生メカニズムの再理論化を図ろうとする意欲的な研究である。

コロナ禍の制約の中で異分野間の研究者が活発に交流し、文理融合的な手法が効果的に用いられ、個々の研究成果だけでなく、領域全体としての成果の兆しが認められる点は評価に値する。特に異分野の研究者を共通のテーマでつなぐ試みとして開始された計画研究を横断して行われるユニット研究には、今後の成果を大いに期待したい。また、コロナ禍で一部に若干の遅れが危惧されるが、フィールド研究の開始に加え、引き続き工夫を重ねることで、着実に成果を挙げていくことを期待する。なお、ドメステイケーションやランドスケープという鍵となる概念の精緻化を進め、それぞれの研究の中で展開していくことが望まれる。

文明動態学研究所の立ち上げにより、領域研究の長期的見通しが立った点も評価できる。引き続き本研究領域終了後の研究の継続を見据えて、研究体制の整備を進めていってほしい。